

FY21 Q1

決算説明資料

株式会社 ビーネックスグループ

2020年11月13日

I 連結業績

II セグメント業績

- Q4比では7%減収だったものの利益は大幅増益
- Q4比での減収は海外事業が4-6月分の計上のためCOVID19が大きく影響(海外Q4比▲約10億円)
- 上期・通期予想は据え置き

単位：百万円	FY21			FY21 上期計画	FY21 通期計画
	Q1	Q4比	YoY		
売上高	17,744	▲7.3%	▲12.9%	37,378	77,800
売上総利益	3,111	+2.0%	▲24.6%	7,130	15,670
利益率	17.5%			19.1%	20.1%
販管費	2,255	△12.2%	△20.9%	5,299	10,870
販管费率	12.7%			14.2%	14.0%
営業利益+雇調金等	1,061	+119.7%	▲17.1%	1,831	4,800
利益率	6.0%			4.9%	6.2%
EBITDA+雇調金等	1,311	+66.4%	▲15.3%	2,430	6,000
利益率	7.4%			6.5%	7.7%
四半期純利益	590	+112.3%	▲21.7%	981	2,700
利益率	3.3%			2.6%	3.5%

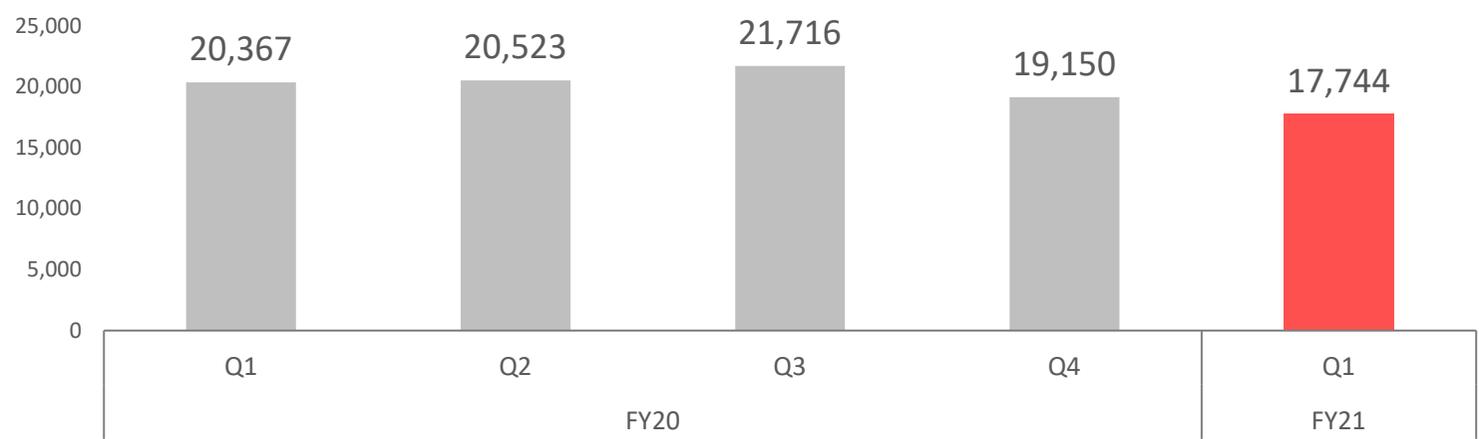
※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用

※ 雇調金等 = 雇用調整助成金 + 休業補償金

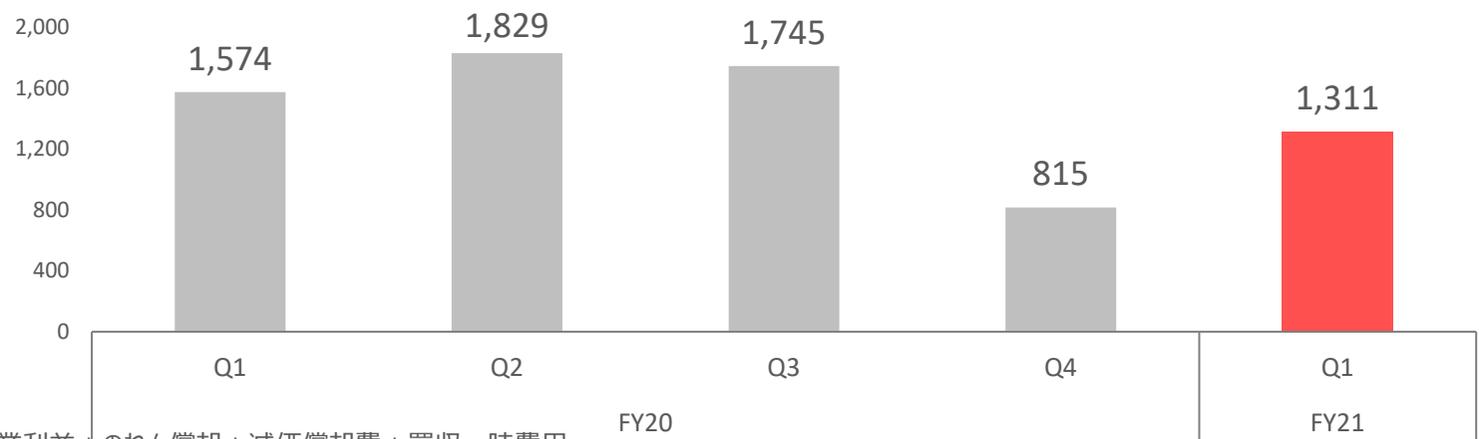
連結 四半期推移

- 売上高：Q1はQ4比約14億円減収（うち海外売上高の影響が▲10億円）
- EBITDA：Q1はQ4比で反転し、底打ちを確認

売上高 (単位：百万円)



EBITDA+雇調金等 (単位：百万円)



※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用
 ※ 雇調金等 = 雇用調整助成金 + 休業補償金

I 連結業績

II セグメント業績

セグメント業績

- 技術系はCOVID19の影響により休業要請や残業時間の削減等が続き売上高はわずかに減少
- 技術系・製造系はQ4比で利益が回復
- 海外は4-6月分の計上のため、COVID19が大きく影響したが黒字を確保

単位：百万円		FY20				FY21		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	YoY	Q4比
売上高	技術	10,702	10,848	11,305	11,031	10,657	▲0.4%	▲3.4%
	製造	2,389	2,391	2,237	2,006	1,936	▲19.0%	▲3.5%
	海外	7,276	7,283	8,173	6,113	5,151	▲29.2%	▲15.7%
	その他/調整	0	0	1	0	0	-	-
営業利益+雇調金等	技術	1,347	1,403	1,594	886	1,288	▲4.4%	+45.4%
	製造	65	118	72	▲92	35	▲46.0%	黒転
	海外	22	119	101	56	30	+31.5%	▲47.7%
	その他/調整	▲156	▲176	▲326	▲367	▲292	-	-
EBITDA+雇調金等	技術	1,463	1,600	1,757	1,062	1,431	▲2.2%	+34.8%
		13.7%	14.7%	15.5%	9.6%	13.4%	▲0.3pt	+3.8pt
	製造	69	122	78	▲86	39	▲43.2%	黒転
		2.9%	5.1%	3.5%	▲4.3%	2.0%	▲0.9pt	+6.3pt
海外	198	283	235	189	123	▲38.1%	▲35.0%	
	2.7%	3.9%	2.9%	3.1%	2.4%	▲0.3pt	▲0.7pt	
その他/調整	▲156	▲176	▲325	▲350	▲282	-	-	

※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用

※ 雇調金等 = 雇用調整助成金 + 休業補償金

* FY20の各Qは2021年1月のHD会社化の影響を加味

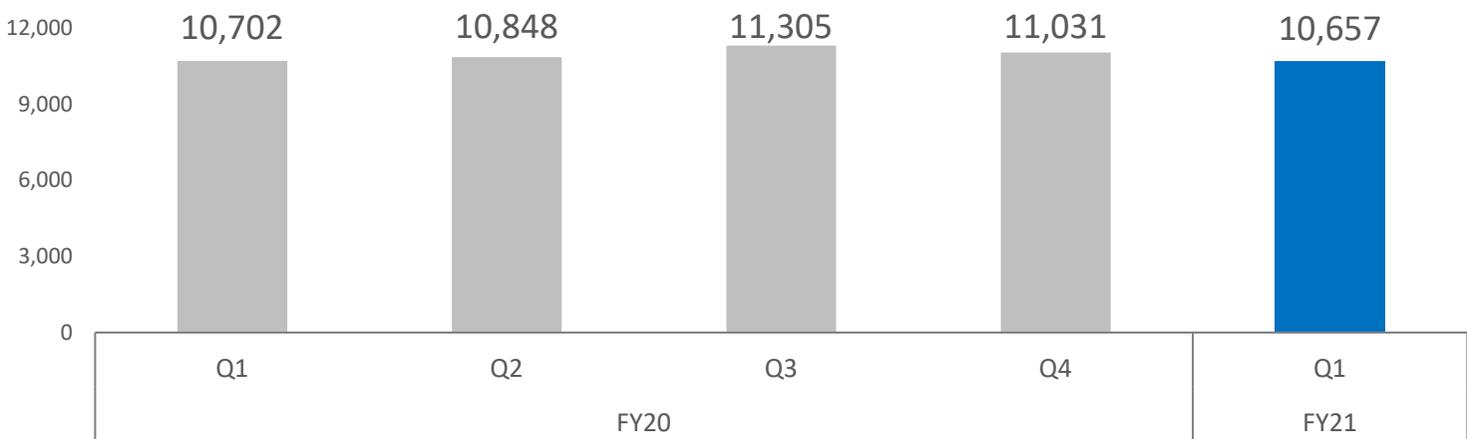
* Q1はHD化で技術セグメントとその他調整で入り繰り（約2億円）

技術系領域

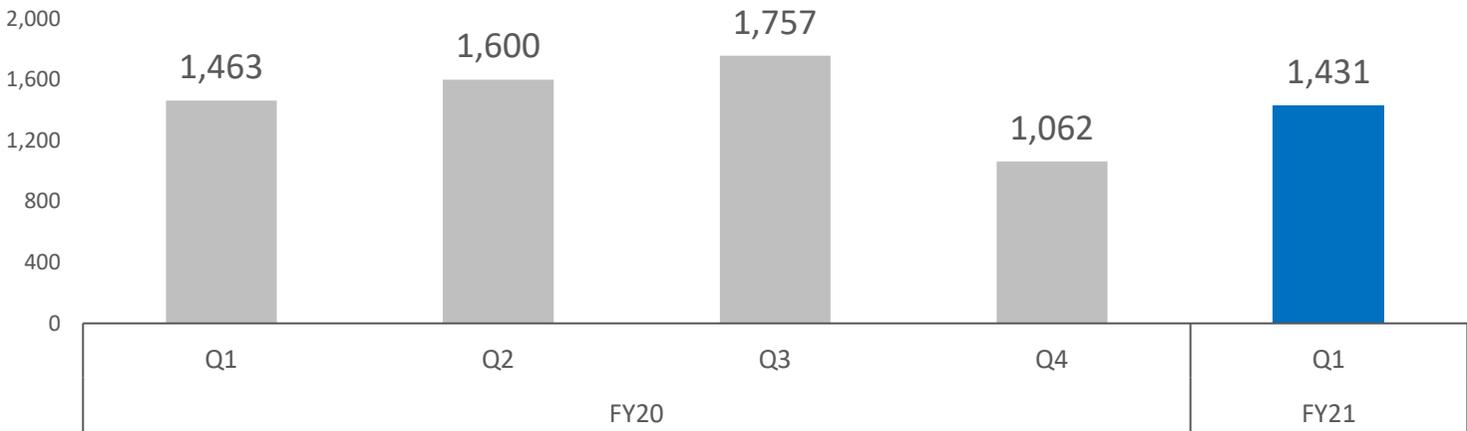
技術系 四半期推移

- 売上高：Q1は社員数の減少によりQ4比でわずかに減収
- EBITDA：Q1は反転し前期第4四半期に底打ちを確認

売上高 (単位：百万円)



EBITDA+雇調金等 (単位：百万円)

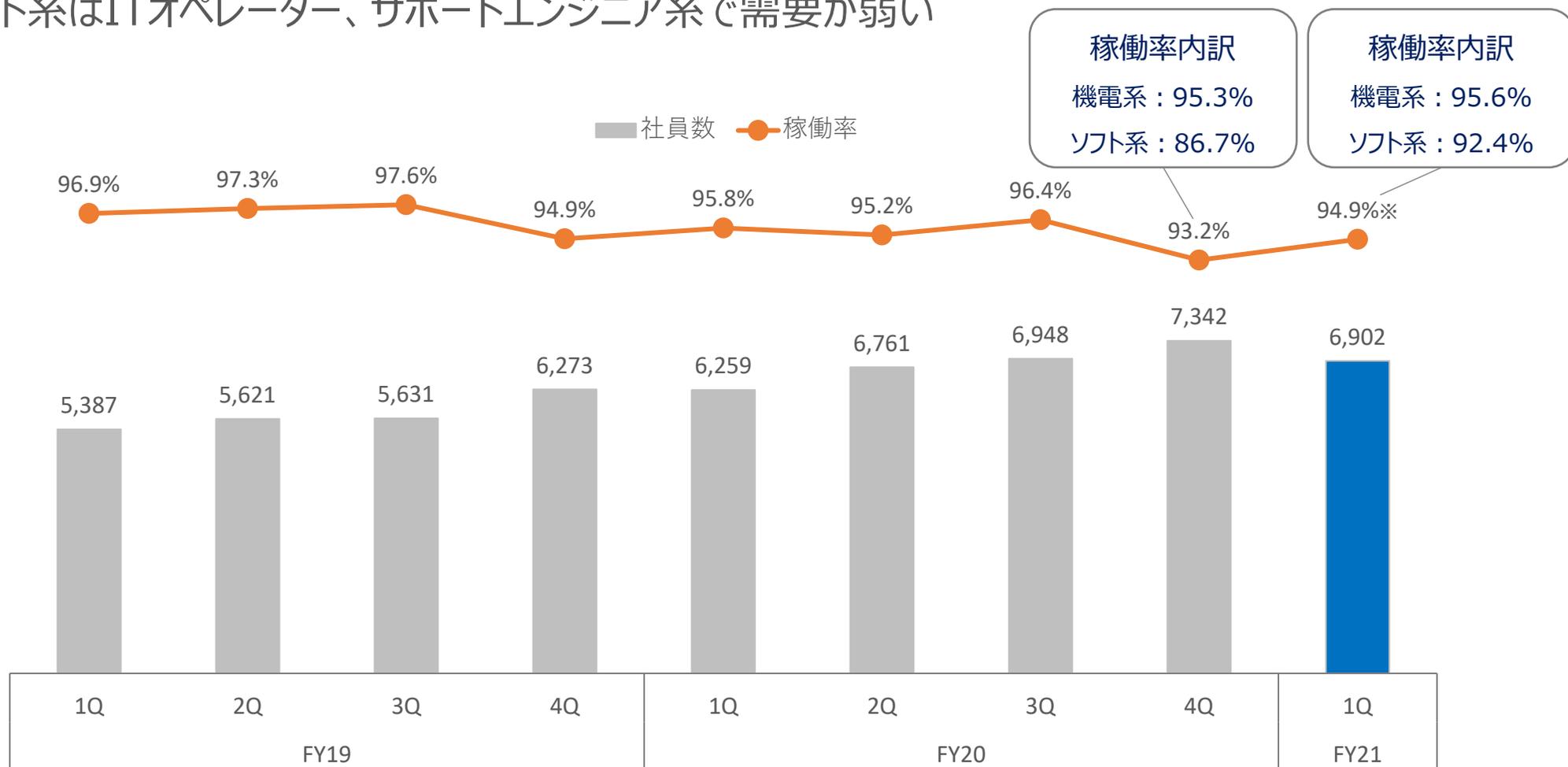


※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用
 ※ 雇調金等 = 雇用調整助成金 + 休業補償金

* FY20の各Qは2021年1月のHD会社化の影響を加味

技術系領域 社員数・稼働率

- 採用活動の抑制により社員数は減少（Q4比▲440名）
- 非稼働社員の減少により稼働率は若干改善
- ソフト系はITオペレーター、サポートエンジニア系で需要が弱い

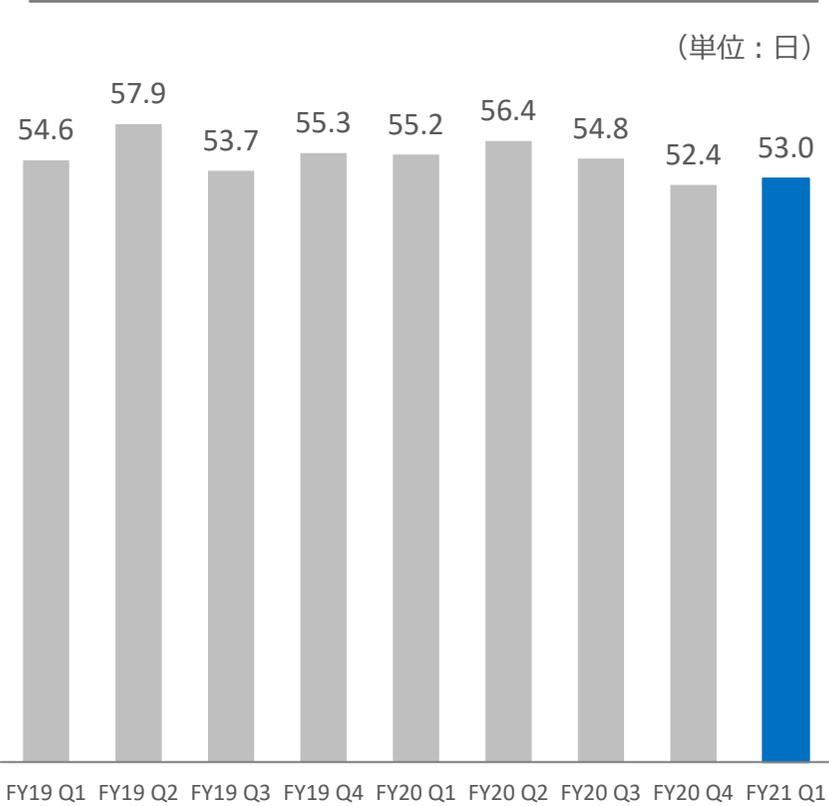


※ 稼働率=(稼働社員数+BP)÷(社員数+BP-休職者数)

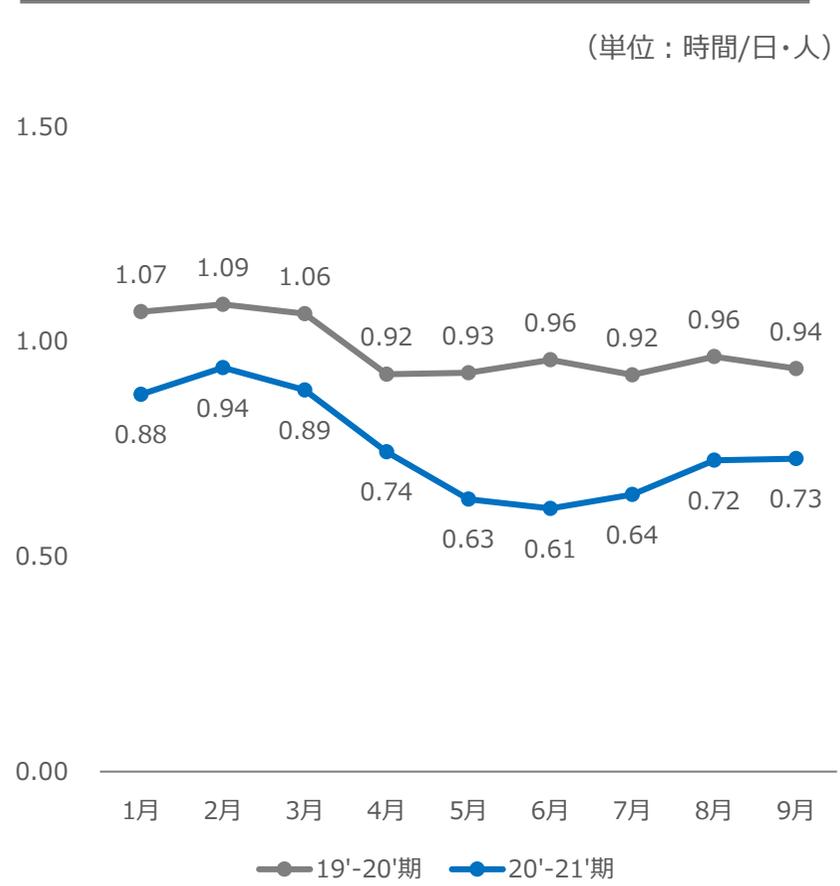
技術系領域(機電系*) 稼働日数・残業時間

- 稼働日数はQ4比でわずかに回復
- 残業時間は底打ちしたが低水準で推移

稼働日数



残業時間

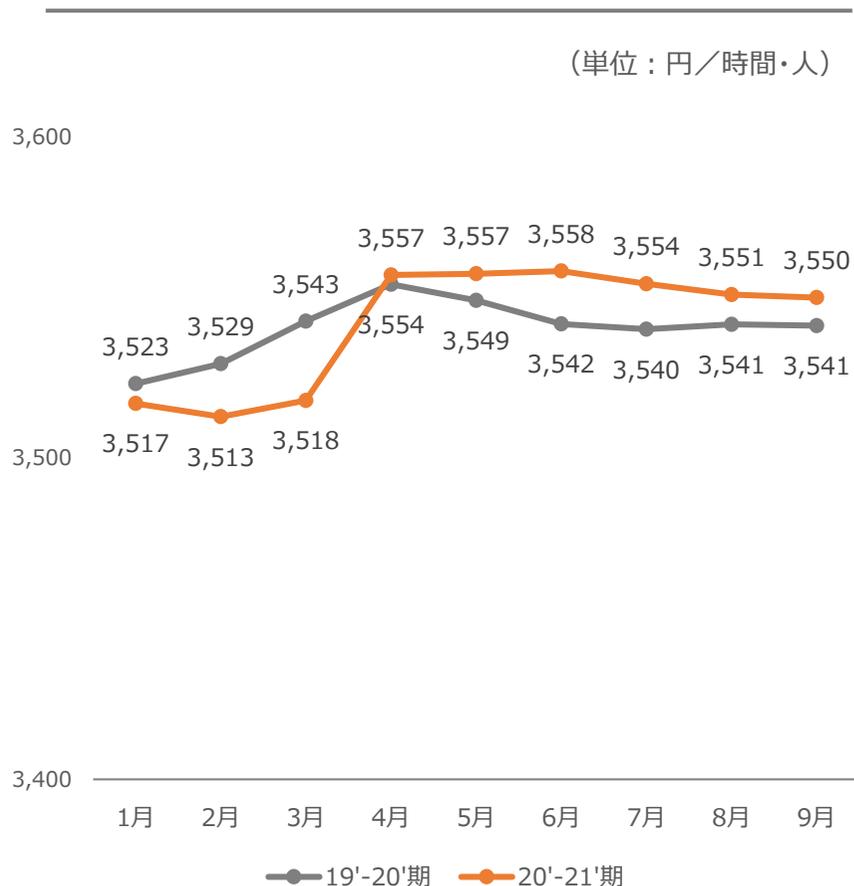


※ ソフト系は月極め契約が多いため

技術系領域 契約単価/請求額

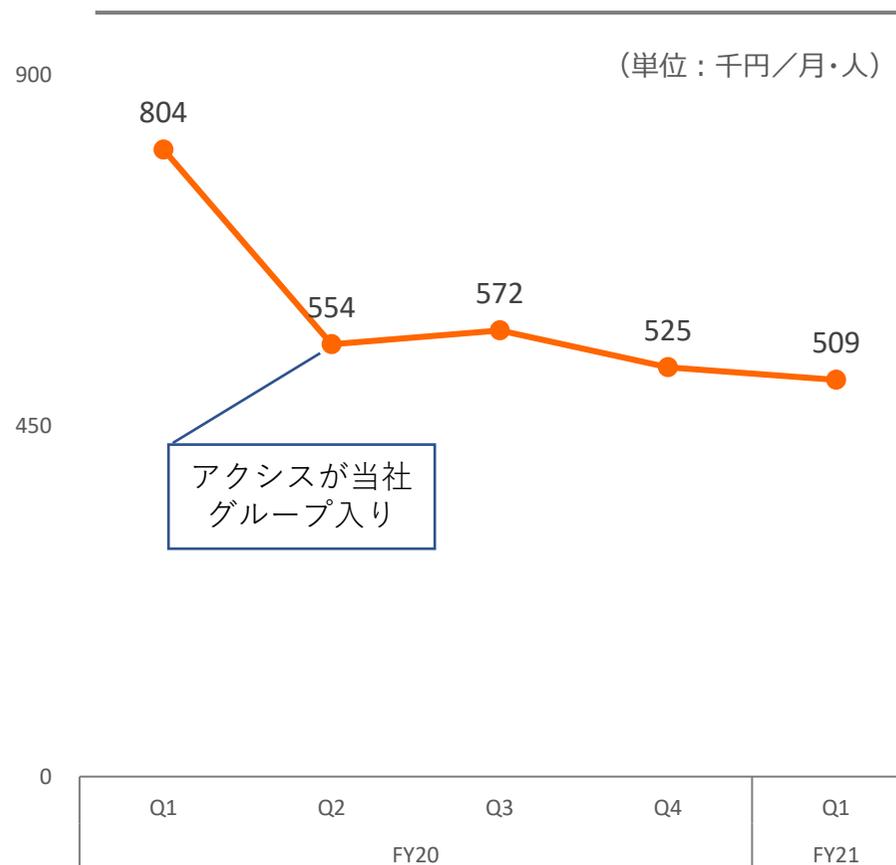
- 機電系の契約単価は4月に上昇し、以降安定推移
- ソフト系は昨年度のアクシス買収に加え、未経験者の積極採用により請求単価が低下。今年に入り採用抑制するも組込ソフト(自動車系)の休業や時短により請求単価は横ばい

機電系 契約単価



※ 請負売上は含みません

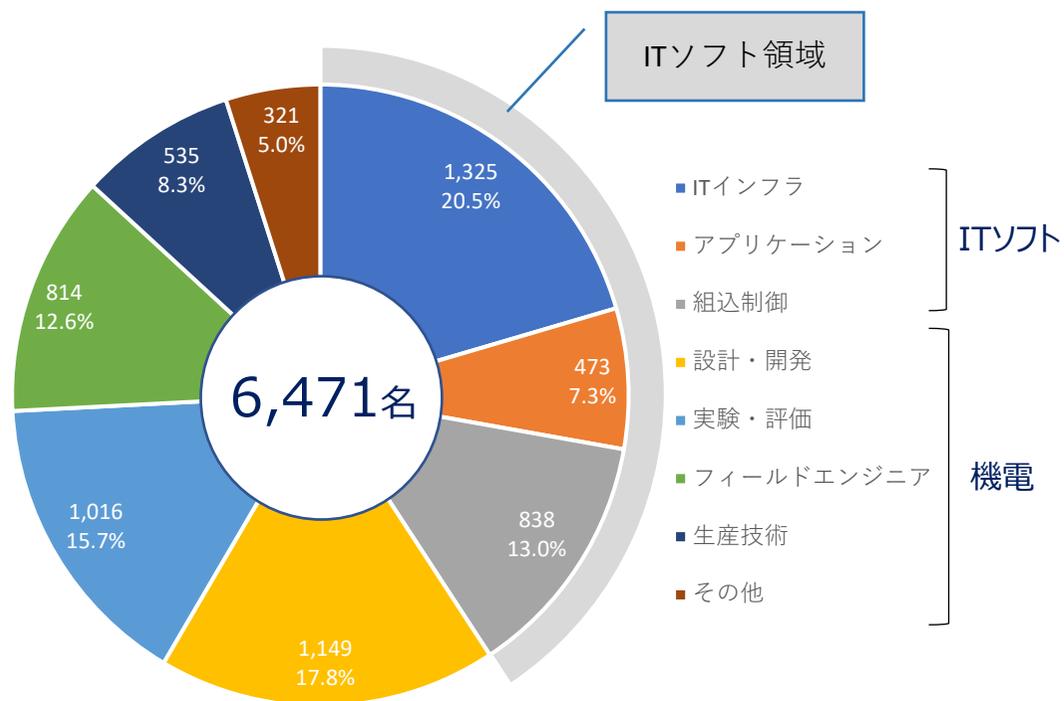
ITソフト 請求額



- 職種別：ITソフト系拡大の事業戦略により、ITソフトウェア関連のエンジニアが40.1%占める
- 業種別：情報・通信業がシェアを9.3ポイント増加させ領域が分散化

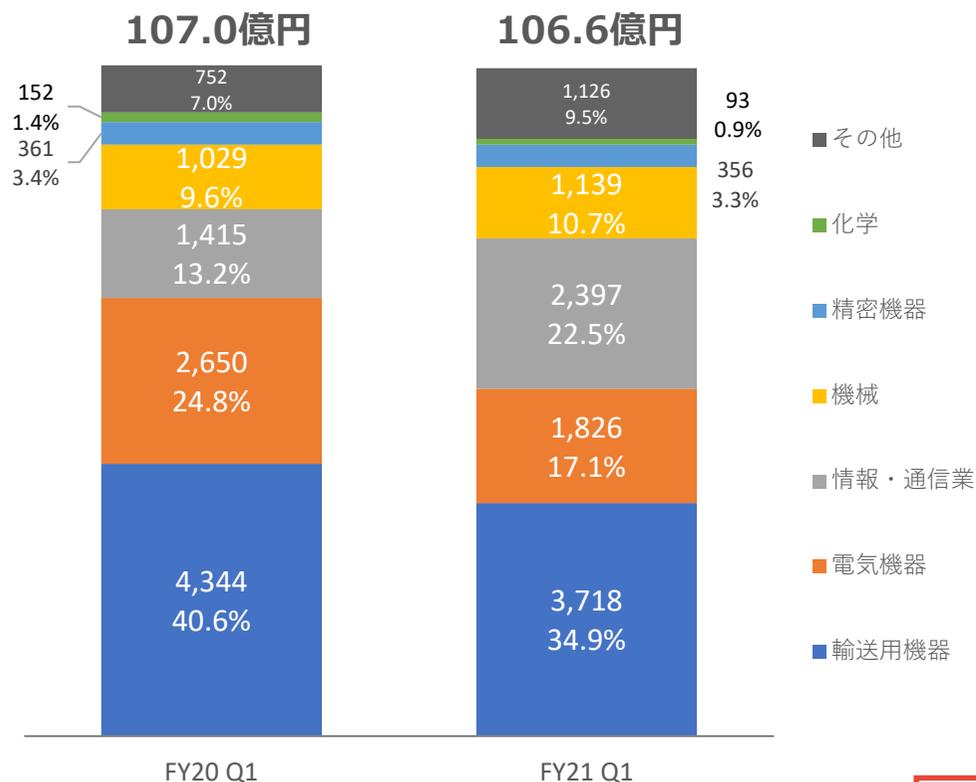
職種別稼働エンジニア数

(単位：人)



業種別売上高

(単位：百万円)

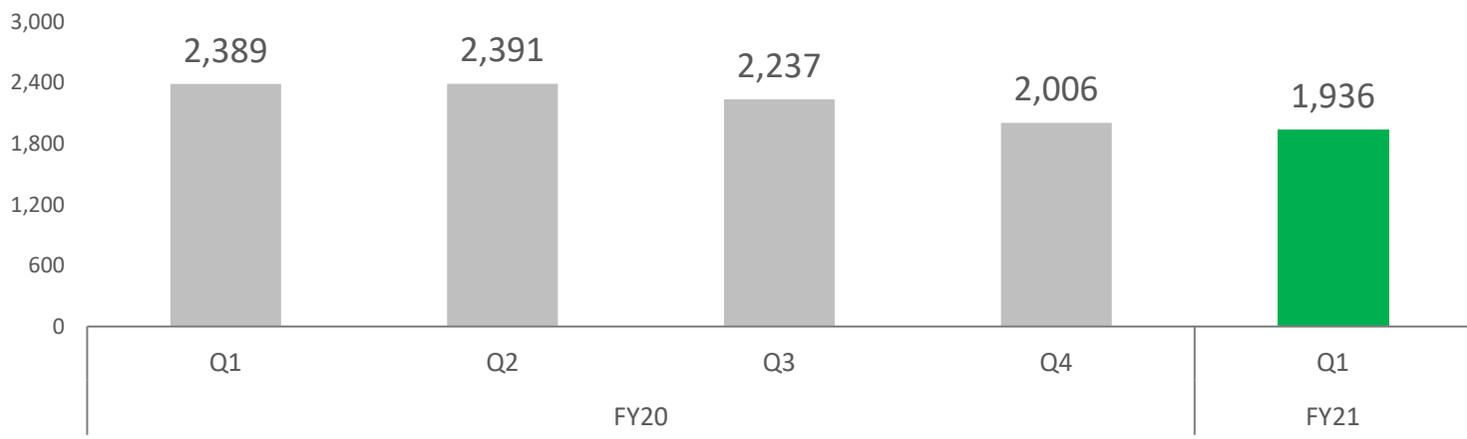


製造系領域

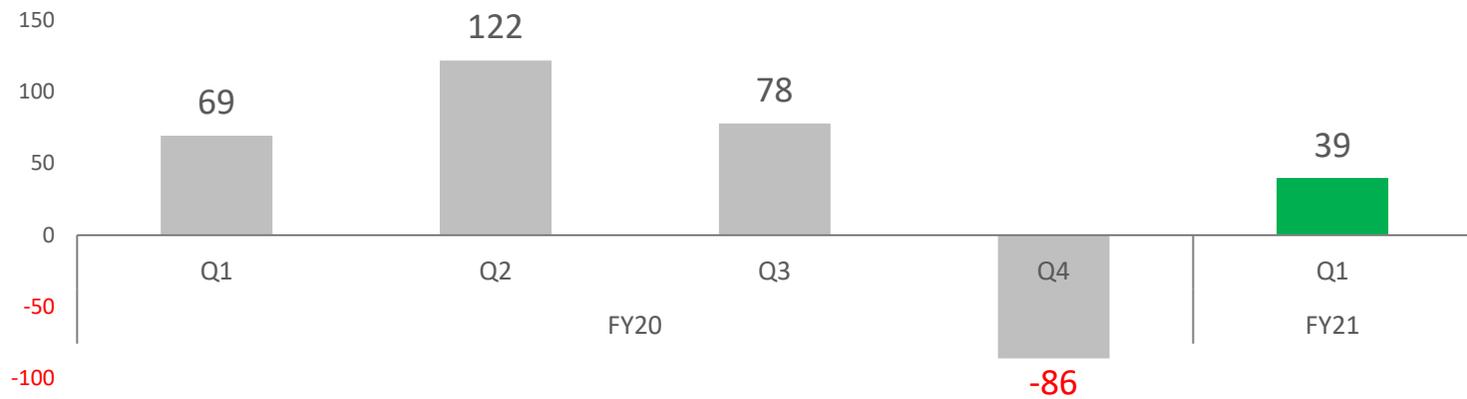
製造系 四半期推移

- 売上高：プロジェクトの収益管理の実施により売上高は減収となったが、今後は回復見込み
- EBITDA：前期第4四半期に底打ち反転

売上高 (単位：百万円)



EBITDA+雇調金等 (単位：百万円)



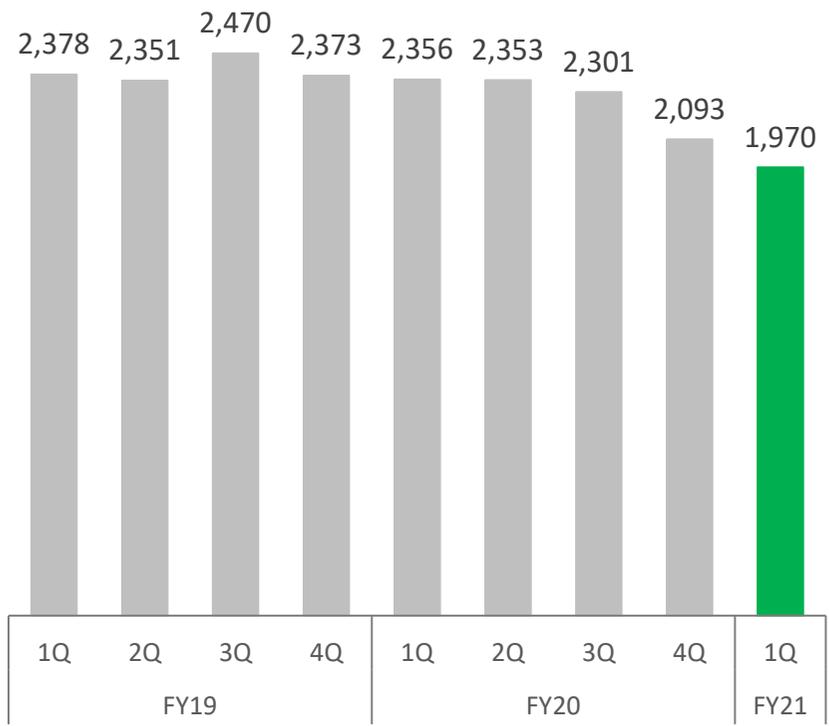
※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用
 ※ 雇調金等 = 雇用調整助成金 + 休業補償金

製造系領域 社員数・稼働日数

- 社員数：プロジェクトの収益管理の実施により社員数は減少したが、今後は回復見込み
- 稼働日数：Q4比の落ち込みは7-9月の営業日数が少ないため

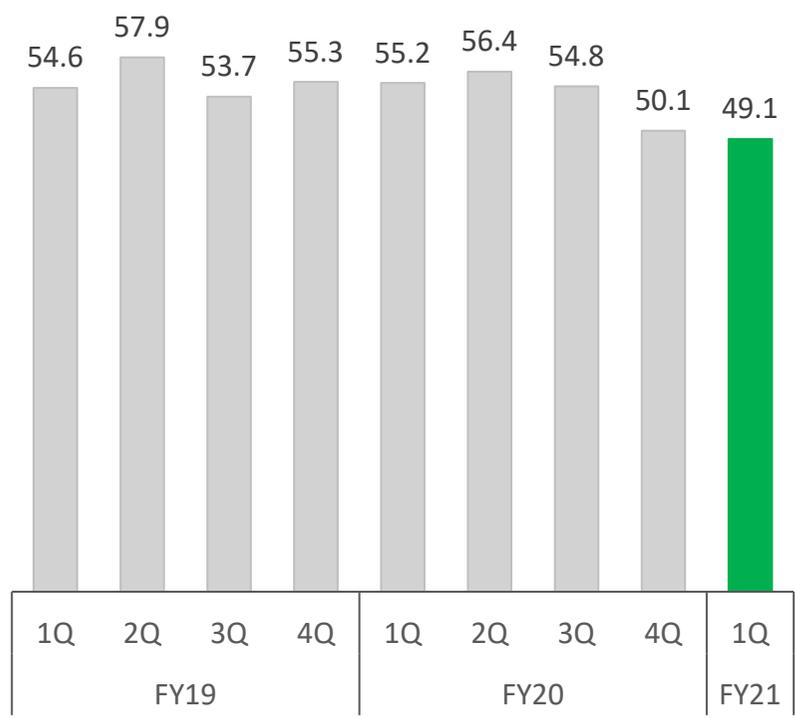
社員数

(単位：人)



稼働日数

(単位：日)



製造系領域 契約単価

- 契約単価：2,000円台を維持し利益向上を目指す
- 業種別売上高：幅広い業界に顧客が分散化し、特定顧客企業への依存はない

契約単価

(単位：円/時間・人)

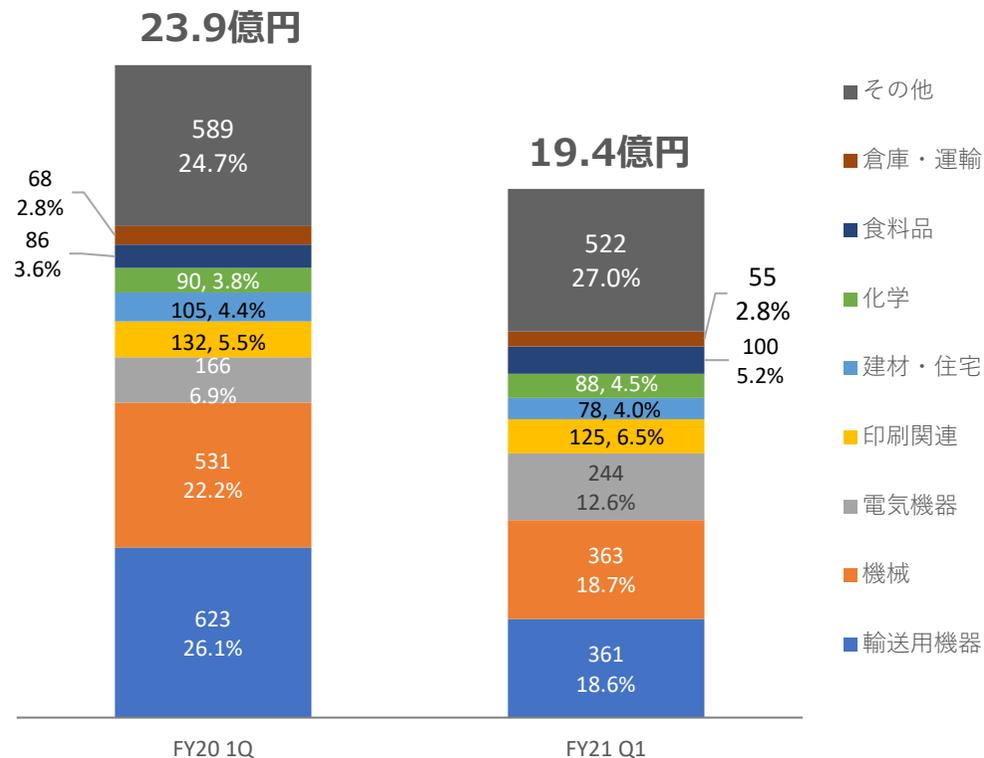


FY19 Q1 FY19 Q2 FY19 Q3 FY19 Q4 FY20 Q1 FY20 Q2 FY20 Q3 FY20 Q4 FY21 Q1

※ 請負売上は含みません

業種別売上高

(単位：百万円)

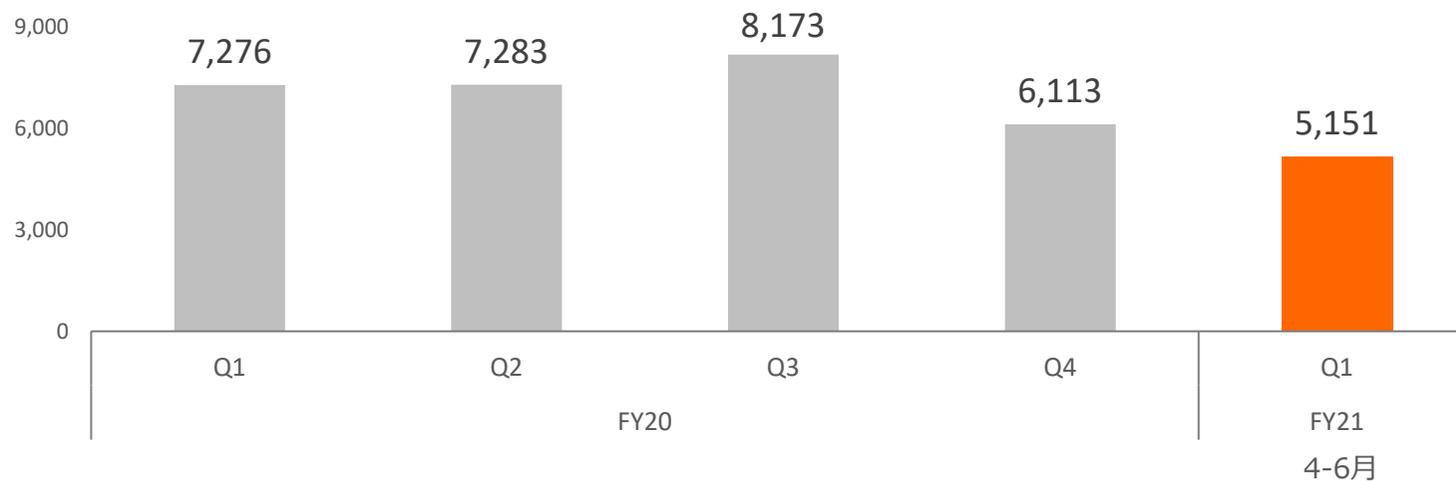


海外領域

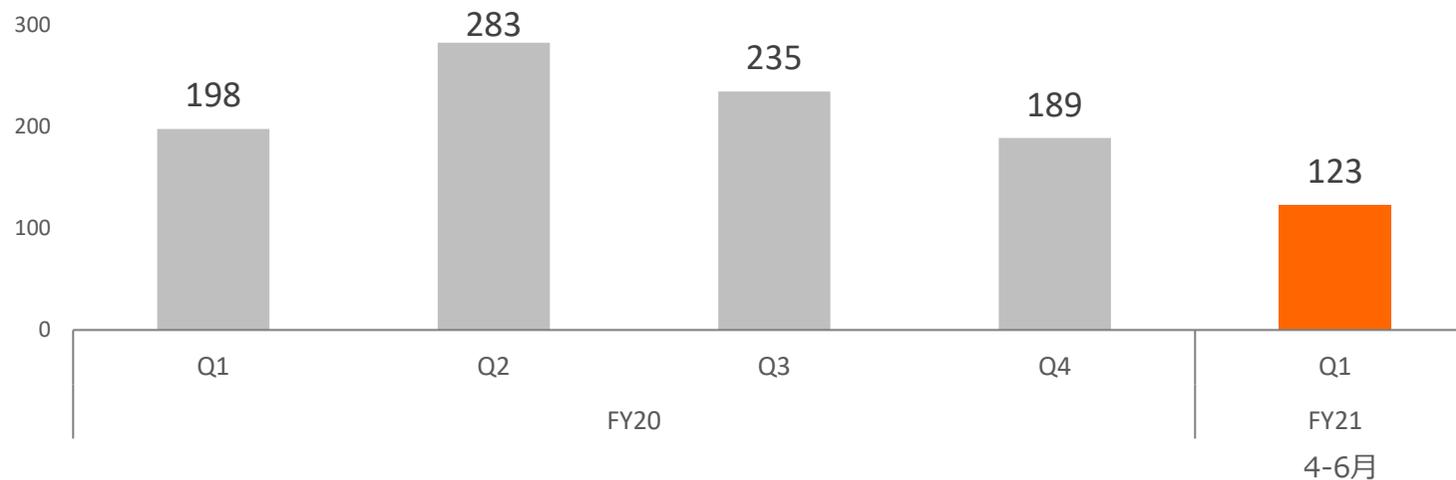
海外 四半期推移

■ 海外Q1は4-6月分の計上のためCOVID19が大きく影響したが黒字を確保

売上高 (単位：百万円)



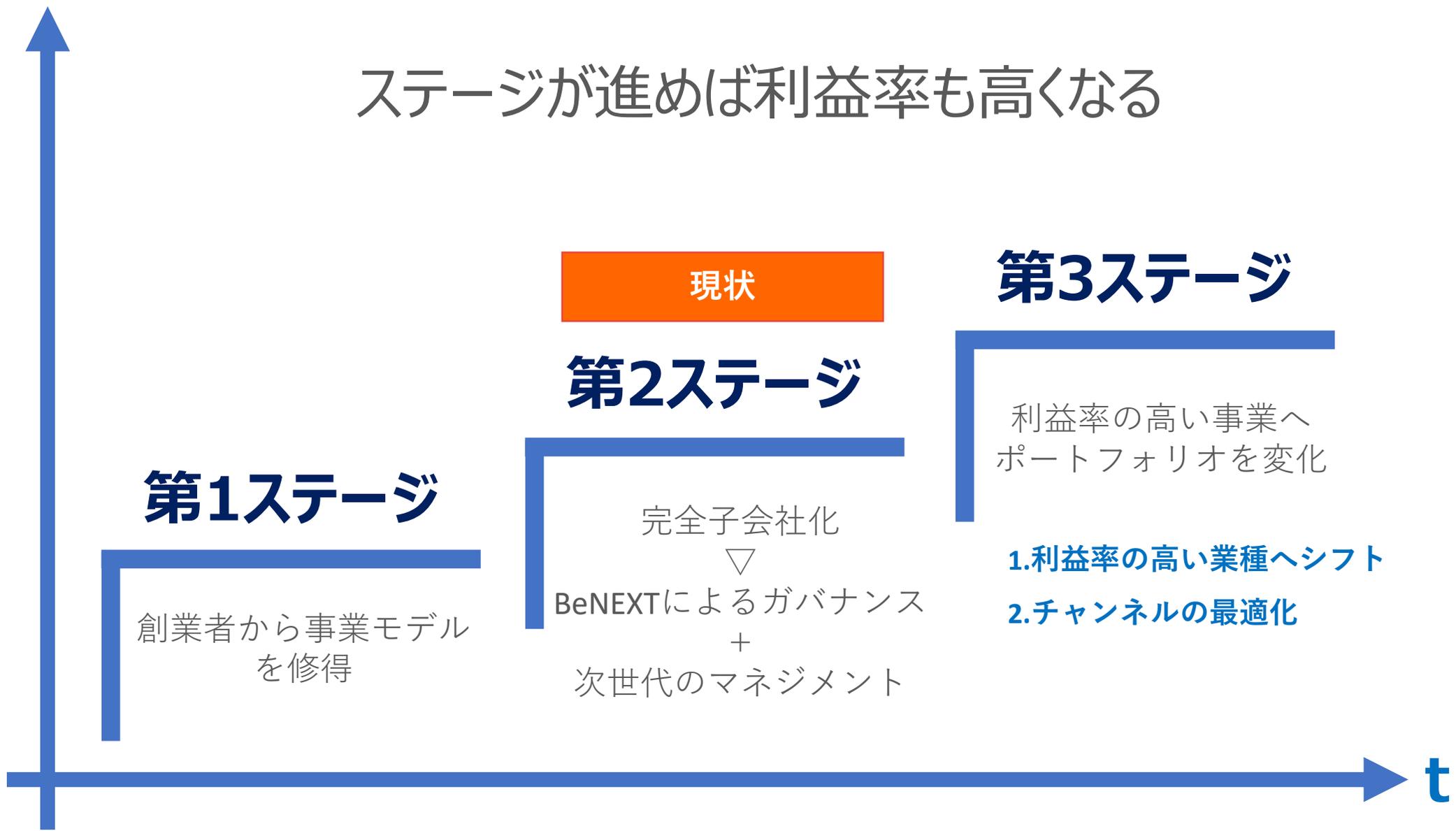
EBITDA (単位：百万円)



※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用

利益率

ステージが進めば利益率も高くなる



第1ステージ

創業者から事業モデルを修得

現状

第2ステージ

完全子会社化
▽
BeNEXTによるガバナンス
+
次世代のマネジメント

第3ステージ

利益率の高い事業へ
ポートフォリオを変化

- 1. 利益率の高い業種へシフト
- 2. チャンネルの最適化

t

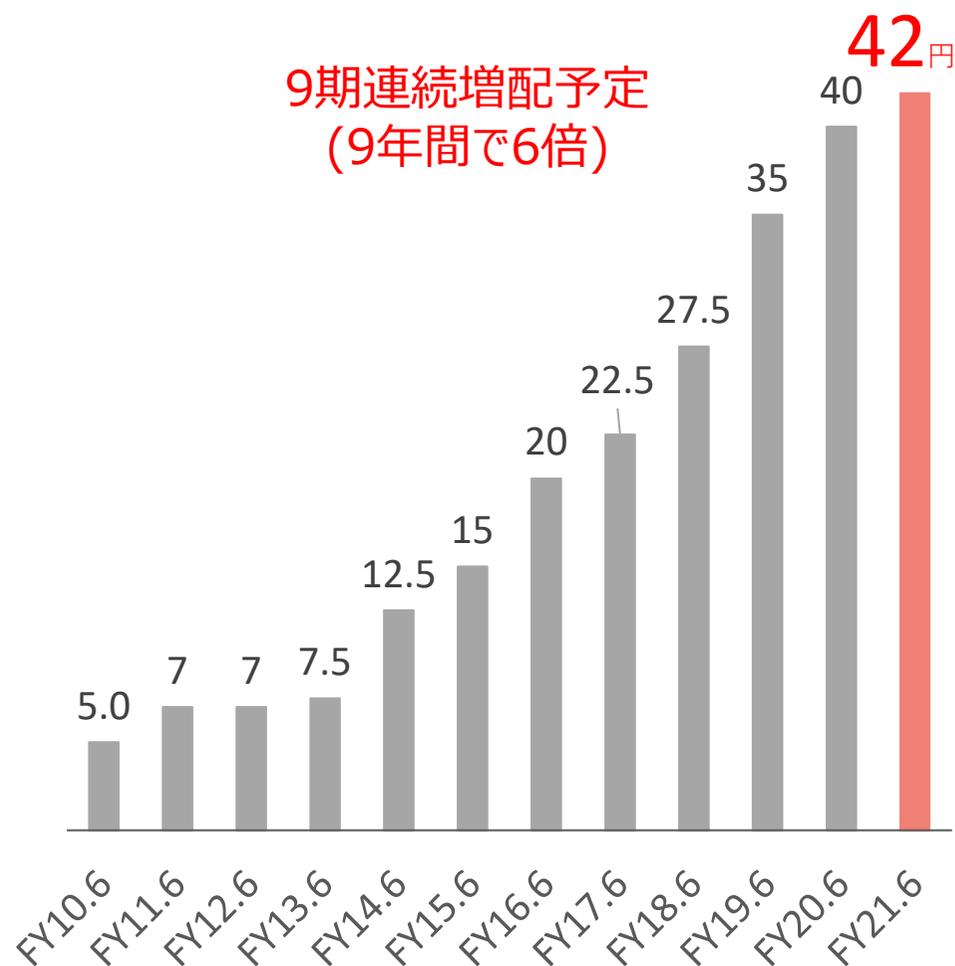
- 健全な財務体質
- 安定成長の配当額

BS

貸借対照表	FY20	FY21
単位：百万円	Q1	Q1
流動資産	20,283	20,112
うち現金・預金	7,850	8,059
うち受手・売掛	11,189	9,777
固定資産	6,861	8,289
うちのれん	5,011	4,322
総資産	29,417	28,401
負債	13,919	14,215
うち有利子負債	3,522	2,006
流動負債	12,456	13,526
固定負債	1,462	689
純資産	15,499	14,186
うち自己資本	15,127	14,062
負債純資産計	29,417	28,401

自己資本比率	51.4%	49.5%
DEレシオ	0.23倍	0.14倍
当座比率	1.53倍	1.32倍

配当



免責事項

本資料は、当社の事業説明の提供を目的としており、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された推測や予測等は、本資料作成時点における当社の判断であり、情報の正確性を保証するものではありません。また、今後、予告なしに変更される場合があります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんので、ご承知ください。

(お問い合わせ先) 株式会社ビーネックスグループ IR室
TEL : 03-5777-7727 E-mail : ir-bnt@benext.jp